

第03講 【 陰陽学説 II 】 教科書 P.9～14

5. 陰陽の相互関係

* 陰陽にはその基本特徴に基づきいくつかの相互関係がある。

* これらの相互関係を熟知していなければ中医学理論を理解・説明するのは困難である。

1) 陰陽の対立と制約

(1) 定義

- ① 対立：陰陽双方の性質は相反している。
- ② 制約：陰陽双方は相互に制約・制限している。

(2) 特徴

- ① 対立制約の過程は静態ではなく(力量)の運動変化である。
- ② 対立制約の過程は一定の時間と範囲内において双方の(力量)は平衡に至る。
- ③ “互害関係” “敵我関係”

2) 陰陽の相互依存

(1) 定義

：陰陽はそれぞれ単独で存在することはできない。

(常に一方は、別の一方が存在することで自己の存在が条件づけられる。)

(2) 特徴

- ① 陰陽はそれぞれ一方の存在が他方の存在の前提となる。
- ② 陰陽はそれぞれ1つの整体中にある。
- ③ “互利関係” “朋友関係”

3) 陰陽の消長平衡 (陰陽消長*)

* { 消：減少
長：増長・増加

(1) 定義

：一事物中の陰・陽の量や力は常に消長を繰り返しており、決して一定不変のものではない。通常、この消長運動により陰陽は平衡を保っている。

(2) 特徴

- ① 陰陽消長は量・程度の変化の過程であり、徐々に変化する過程である。
- ② 陰陽平衡は動的平衡であり、一定の範囲内での相対的な平衡である。

(3) 消長の種類

- ① 陰消陽長：陰が減少し陽が増多する過程。
- ② 陽消陰長：陽が減少し陰が増多する過程。

4) 陰陽転化

(1) 定義

：陰陽転化とはある一定の条件において陰一陽（の属性）が相互に転化すること。
則ち、陽が陰に転化し、陰が陽に転化する。

(2) 特徴

- ① 陰陽転化は**質の変化**である。
- ② 陰陽転化の発生条件とは**量の変化が極まる**ことである。
“ 陰極まれば陽となり、陽極まれば陰となる ”

【太極図について】



- * “太極魚”ともいう。
- * 白が陽を、黒が陰を示す。
- * (この図の場合)反時計回りに陰或いは陽が大きくなる様子は消長を示す。
- * 陰或いは陽の最も大きくなった部分にある反対の色を、陽中の陰・陰中の陽と呼ぶ。これは陰陽転化を示す。

【練習問題】

問1. 次のうち誤っているのはどれか。

1. 秋から冬への過程は「陽消陰長」である。
2. 「陰陽転化」は量・程度の変化である。
3. 陰陽の一方が単独で存在することはない。
4. 陰陽は常に不断の運動変化をしている。

問2. 陰消陽長を表現しているのはどれか。

1. 午後
2. 秋
3. 日の入り
4. 未明

問3. 次の中で陰陽転化の起こる最も適切な時間はどれか。

1. 午前6時
2. 正午
3. 午後3時
4. 午後6時

問4. 陰の属性を持つものを全て選べ。

1. 無形
2. 機能
3. 気
4. 血
5. 体表
6. 温暖